

## 連代コンストラクトの環境行動計画

平成22年2月3日

### ■ 取組方針

#### 環 境 基 本 理 念

株式会社連代コンストラクトは、人と自然のより良い関係をそだてる独自の製品開発を通じて、“未来の地球環境への貢献”を目指す企業です。

当社では、循環型社会の一端をになうリサイクル材料を使った土系舗装材や土壁材など、アースコンシャスに特化した次世代土系二次製品を製造しています。

緑の大地、青い地球を次の世代に残すために、企業活動と地球環境の調和を図ることは、今を生きる私達の責務であります。足もとの大地から未来の地球にも快適な環境づくりを支援するメーカーとして、循環型社会を実現していくために、従業員一人ひとりが積極的な環境保全に取り組んでいきます。

#### 環 境 行 動 指 針

私たちの事業活動に伴う、環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動を従業員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 会社全体における廃棄物の削減とリサイクル
- ③ 3S（整理・整頓・清掃）の徹底
- ④ 危険物の安全な取扱

この方針に基づき、従業員一人ひとりが高い環境意識をもち、自主的に環境保全活動に取り組めるように、取組方針と取組目標及び具体的な取組全体を全従業員に周知します。

平成22年2月3日  
株式会社連代コンストラクト  
代表取締役 連代毅彦

## ■ 環境負荷の概要

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標 1 二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を平成20年度を基準として23年度までに3%削減する。

### 具体的な取組

#### （事務所での取組）

- ・ 冷房温度（28度）と暖房温度（20度）を厳守する
- ・ エアコンの試用期間中には、毎月1回フィルターを清掃する
- ・ エアコンを使用しない期間は、動力フィルターを切る
- ・ 昼休みの消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコン・コピー機の節電機能を活用する
- ・ クールビズ、ウォームビズに取り組む

#### （製造工場での取組）

- ・ 昼休みには、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーなどのエア漏れを定期的に点検する
- ・ ロータリーキルンの温度が、すばやく適正温度に安定するように調整する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

#### （自動車、車輛機械の使用による取組）

- ・ アイドリングの防止とふんわりアクセルを心がける
- ・ 定期的に点検、グリスアップを行なう

目標 2 廃棄物の排出量を把握し、削減させてリサイクル率を増加させる

### 具体的な取組

#### （事務所での取組）

- ・ ごみの分別仕様を再検討し、置き場を整備して分別を徹底する
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ シュレッダーの使用は機密書類に限定する
- ・ ダンボールや梱包材、クッション材等はリサイクルする
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

(製造工場での取組)

- ・ 紙袋やビニール袋はなるべくリサイクルする。
- ・ 破損パレット等はできるだけ修理して使用するようになる。

目標 3 コピー用紙の使用量(売上高当たり)を平成20年度を基準として23年度までに3%削減する。

具体的な取組

(事務所での取組)

- ・ 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する
- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 社内資料は、使用済み用紙の裏面利用を徹底する
- ・ 書類や資料は、電子データ化を進める

目標 4 3S(整理・整頓・清掃)を徹底し、全従業員の習慣化を目指す

具体的な取組

(事務所での取組)

- ・ 従業員一人ひとりの机や、その周りをいつもきれいにする
- ・ 喫煙は決められた場所で吸うということを徹底し、3Sされている状態を保つ

(製造工場での取組)

- ・ 工場内、製品倉庫内は常に3Sを心がける。
- ・ 製品、材料、工具、備品等は決められた場所に保管する

目標 5 危険物の安全管理を徹底する

具体的な取組

(事務所での取組)

- ・ 使用度に使用量、使用時間を記録し、保管する
- ・ 危険物搬入時には、日時、数量、搬入状況を確認し、記録し保管する
- ・ 従業員一人ひとりの危険物に対する知識を高めるために定期的に安全教育を行なう

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、連代基弘(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が実行していくと共に、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。